

浦山ダム貯水池で発生した臭気物質への対応について

独立行政法人水資源機構が管理する浦山ダムで、7月1日に貯水池内(3箇所)及びダム放水地点で採水を行い、臭気に関する分析を行った結果、7月3日に貯水池内からカビ臭の原因物質であるジェオスミンが確認された事が判明しました。ダム放水地点では確認されていません。植物プランクトンの一種で藍藻(らんそう)類に属するアナベナの中にジェオスミンを発する種があるとされています。6月9日に貯水池から採水し分析した結果、極微量のアナベナを確認していました。

現在のところ、ジェオスミンの濃度は貯水池内の高いところで5ng/L(ng(ナノグラム)は10億分の1グラム)であり水道水質基準(10ng/L以下)を下回っています。

安心して水道原水として利用していただけるよう、浦山ダムでは以下の対応を行っています。

- ①選択取水設備取水深の変更(深さ6m→8m)
(極力、臭気物質を流下させないよう、ジェオスミン濃度の高い表層付近からなるべく離れたところから取水します。)
- ②清水バイパスの運転の継続
(貯水池上流で取水した水を下流に放流します。)
- ③水質監視の強化
(プランクトン発生状況及び臭気の状態把握)
- ④関係機関への情報提供

※選択取水設備 : 貯水池の水温や水質の状況に応じ、ダムから取水する水深を選択できるようにした施設

調査結果

浦山ダム貯水池水質調査結果

【調査日付】平成21年7月1日

【調査地点】

- ・貯水池補助地点
- ・フェンス上流地点
- ・貯水池基準地点
- ・ダム放水地点



| 地点 | 貯水池補助地点 | フェンス上流地点 | 貯水池基準点 | | | | ダム放水地点 |
|--------------|---------|----------|--------|-------|-------|-------|--------|
| | | | 水深(m) | 0.5m層 | 0.5m層 | 0.5m層 | |
| 臭気強度(TON) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | <1 | <1 |
| ジェオスミン(ng/L) | 5 | 3 | 2 | <1 | <1 | <1 | <1 |

<1は、定量限界以下の事を示す。

ジェオスミン: 10ng/L以下(水道水質基準)

臭気強度(TON): 3以下(水質管理目標設定項目: 水道水中での検出の可能性があるので、水質管理上留意すべき項目)

(TON): Threshold odor numberの略で、臭気を感じなくなるまで無臭水で希釈した場合の希釈倍数

上記基準は、厚生労働省(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/kijun/kijunchi.html>)より

水質調査地点

